

## ■利用者の声01

■4年生になつてから算数の文章題が苦手なのが気になつていました。市販の文章題の問題集を使おうかとも考えていたのですが、ふと、本当の勉強つて問題の解き方、パターンを覚えても意味がないんじゃないかと思い、『考える力』をキーワードに検索をかけ、貴ホームページに出会うことが出来ました。一連の記事を読ませていただき、「これだ!」つと、目からうろこの状態です。

■一日少しずつでも学習する習慣づけに良いかと思つて、小1の2学期から「【公文】式」の算数に通わせていましたが、『絶対学力』の内容を読んで今後どうするか悩んでおりました。折も折、計算だけを繰り返す学習法に息子のほうが拒否反応を示すようになり、思い切つてやめたばかりです。

「先生は大好きだけど、勉強の仕方が嫌い、算数そのものが嫌になりそうだ。」と訴える息子の側に立つて判断できたのは、『絶対学力』を読んでいたからだと思います。

■小学五年生と1年生の二人の女の子の父親です。五年生の子供の学習について家内ともども悪戦苦闘中です。この4月に山口県から福岡県に引っ越してきたばかりでレベルの違いに戸惑っています。また、絶対学力を読み、

考えない子供にわが子がビタリ当てはまり、笑うに笑えない状況です。

■毎日毎日子供の百マス計算の足し算、引き算、掛け算、余りのある割り算、たしざんエレベタ引き算エレベタ、3桁×3桁の掛け算ドリル、文章題、ベネッセの添削、漢字の書き取り教科書の本読みを毎日欠かさず（日曜日も）させてきて、先日の家庭訪問で、担任の先生から「絶対学力」を勧められて、読ませて頂き、今なら、まだ間に合う!と思ひ、ホームペジを開かせて、頂きました。是非、文章題をさせて頂きたいと思ひます。

■はじめまして。小4の娘を持つ母です。今年の1月から「お友達と一緒に【公文】式に行きたい。」と、せがまれ、3教科で行かせています。自分自身が子どもの頃、【公文】式の算数をした体験が有り、つまらなかつたので娘にもそのように伝えたのですが、どうしても行つてみたいと申しますのでトライさせてみました。最近、ちよつと、しんどくなつてきて、家で自主的にプリントに向かわなくなつてきたので、「もうそろそろやめたら?？」と、声をかけていたところでした。

これで自信をもつて(??)「やめよう」と、言つてやれます。まだ傷は浅い!さつそく、『分かん帳』作らせて楽しみます。今後ともよろしくお願ひもうしあげます。

■昨日トライアングルナンバズをしていた(一応九九はいえるが遅い、ときどき間違えありの小3)が、「あれ、九九をいわなくても答えがわかるのがる!？」と、につこりしました。(はやく全部がそうなつてほしいなあ)逃げ腰だった文章題(小1用)も、「エ、足が奇数のいきものつてあるんかな?？」と、算数とは違う方向へ行きながらも、少し楽しんで(??)取り組み始めました。まだ始めて数日なのですが、親もくじけず続けて行きたいです。

■はじめまして。2人の子供がいます。小学一年生の娘に迂闊にも「100マス計算」をさせてしまいました。お陰様で計算は早く出来ても文章問題は全く苦手になつてしまつた状態です。文章の意味が解からないとやる気を無くしてしまいます。考えても頭が働かない様子で答えを教えてくれるのを待つている始末です。こちらの年長の問題もおそらく出来ないことでしょう。取り返しのつかない事をしてしまつたと大変ショックを受けています。まずは「絶対学力」を読んで自分が変わる事から始めようかと思ひます。それと、優しい言葉をたくさんかけてあげようと思ひます。

■小学2年生の母です。もうそろそろ1年に

なりません。まだゆつくりと、1年生のちよつと難しいかな?という問題を選びながらやっています。なかなかすぐに解けなくて、ノトを何ページも使つて格闘している姿を見ると、ちよつとは成長したかな?と感じています。やはり1月に1ヶ月ぐらいかかっていること、頭がどんぐり倶楽部で一杯になる」とのことでも、かなり根気もついて、「考える」ということに慣れてきたという印象です。今年の夏休みは、トライアングルナンパズに挑戦してみようと思つています。ゲーム感覚でのつてくれるといいんですけど。

■A君は、精神年齢5歳くらいで養護学級にいます。1年生程度の宿題をもらつてくるのですが(例によつて、書き取り「九九」100マスの小さい版)それが嫌らしく、宿題をする、しないで学童の指導員を梃子摺らせておりました。ある日のお迎えで、また指導員の先生ともめている場面に出くわし、ふと「そんなに嫌やつたら宿題やめて、楽しい問題やつてみる?」と水を向けたところ、A君が乗り気になり、それでは、と今月初めから週1ペースの寺子屋となりました。A君は、平仮名も「し、ろ、い、は、な、が」と1字1字区切らないと読めないし、数字もまだ裏文字を書いたりするので、なんと、文章題をいっしょに読んでやると、一心に絵を書

いて答えを出してしまいました。これには、私も吃驚しましたし、何より当人が、一番嬉しかったようで、「おばちゃん、毎日やろう!」とまで言つております。学校での「勉強」はA君のやる気を全く引き出せなかったのにこの文章題はやはりすごいです。出題の仕方や何かを、こういつたタイプの子向けにもう一工夫すればA君も平仮名、漢字をすらすら読んで、「考える」ことができるようになるのではないか、そうすれば学校で自分をうまく表現できず孤立している(いじめられて)現状も多少改善するのではと思つていました。まとまりませんが、とりあえずお礼方々ご報告まで。

#### ■糸山先生

お世話になります。

4年生になってから自宅学習にて中学受験の準備を父親の私と始めて1年が過ぎようとしていた頃に「9歳の壁」をどう突破していくか?というタイトルに惹かれて、先生のご本である「絶対学力」を拝読致しましたことが縁で5年生の5月からどんぐり倶楽部のFAX教室でお世話になっております東京都港区在住の\*\*\*です。

丁度、娘も壁に突き当たつておりまして、四谷大塚シリズム算数の教材を使用しています。基本の問題は7割り程度は自力でこなしておりますが、練習問題は皆目駄目で「こ

れでは先が思いやられる」と心配でたまらず、ありとあらゆる算数関連の本を買い漁りましたが明確な答え掴むことはままならず、忸怩たる晴れない気持ちで半年余り続いていたところ、偶然に普段から購読している週間文春のどんぐり先生のご本の紹介記事を見て軽い気持ちで買つて読みましたところ、パタン学習と反射式プリントこれらはもう戦慄が走りました。娘は見当違いの努力を真面目に続けてしまつていたのでした。

どんぐり先生のお教えとは典型的なマイナス状態で小学校での計算の速さは毎回、クラスでダントツの一位、使っている教材もパタン学習の繰り返しでしたので、中学受験用教材をパタン学習度合いの緩やかなものに変更し、どんぐり倶楽部FAX教室の4年生の問題を毎日2問ずつ続けさせました。

最初のころは図を描いてじっくり考えてから計算式を書いて解くことに中々馴染めず、「計算でのみ解こうとしているので、このままだと将来において難しい問題はお手上げになりますよ、図を描いて、図を描いて」とのどんぐり先生からの助言を戴いても、なかなか悪い癖は抜けませんでした。4年生コス100問の3分の1を過ぎたあたりから、段々と馴染み始め、それからは娘も面白く感じ始めたのでしよう。「ほどほどにしなさい」という苦言にも耳を傾けず、7月初旬には100問全て終了し、糸山式「分らん帳」も完

壁に網羅したころ、気がつけば何とあの敷居が高かった予習シリーズの練習問題も楽々となしていました。

娘の思考回路が柔軟度を増し、先生の言われるところの絶対学力の完成に繋がって行くのだと確信いたしました。有難うございました。

【コメント】中学受験の基礎も「読み書き計算」ではなく思考力養成↓視考力養成だということですが、まず視考力です。そうすれば、受験といえども「百戦危うからず」です。チャレンジ、ピグマリオン、知の翼、日能研テキスト等受験用のテキストは数多くあります。どれを使っても合格します。必要な知識や技は限定されているからです。2年あれば十分身に付きます。ですから、合否が分かれるのは「考える力」の有無だけなのです。今までこの力は偶然に(あるいは環境に)任ざれていました。「どんぐり倶楽部」は、この最も重要な基本を確実に育てようとしているのです。

## ■利用者の声02

■本日、さっそく本屋へ行つて、「絶対学力」の本を購入しました。全文を読み終えたわけではありませんが、(受験の内容などは飛ばしました)自分に必要そうな項目は一通り目を通しました。掲示板で算盤の件のお返事を

いただいた時は、「絵を書く」という意味が、いまいちイメージできなかったのですが、(単に黒い丸を描くだけのものかと思つてしまつていました)本を読んで、納得しました。特に文章題に関しては、幼稚園児のものでさえ、私自身、絵を描いてしか解けないなと感じました。こういう文章題って、特に低学年の時は出てきませんよね。市販のものを見ても、ドリル形式のものが目立つように思っています。

ここで、子供についても紹介します。幼稚園年中の男児と3歳の男児がいます。二人とも神戸にある知能教室に通っています。いわゆる早期教育の部類に分類されてしまうのでしようが、そこで行なわれているのはかなりユニークな図形問題や、迷路、といった類いで、カードのフラッシュや計算等は全くありません。その教室も、そういった教育には否定的なところで、例えばパズルなどでも、本人が考える過程を重要視してください。いわゆる正解は教えません。いわく、「いずれ、大きくなったら誰でもわかるから」ということらしいです。確かに、大人なら解ける問題です。その教室で【公文】式などの反射式プリントの弊害(本に書かれていることとほぼ同じ)なども教わりました。

ただ、その教室では「算盤の場合ばかり」と実数の感覚がつかめるので、算数の取り掛かりとしては有効です」とも教えられました。

た。それで、私自身が昔少し算盤をかじったことがあったので、パソコンソフトを使用して子供に教えています。勉強の習慣づけになればと毎日5問だけ計算させています。と、いうわけで、自分で考えることはかなり慣れている子供ですが、いわゆる文章から物事を考えるというカリキュラムがないのです。今まで小さかったから、徐々に出てくるのかも知れませんが、どうも、子供をみていると、文章に関しては？な部分が多いのです。

随分小さいうちから毎晩絵本の読み聞かせは行なっているのですが、そもそも、読解力とはどうやってつくものなのか？私自身、何の苦労もなく国語が得意だっただけに、どうしてやるのがいいのか手段が全くわかりませんでした。(私にはテストの時でさえ国語を勉強した記憶が無いのです)ですから、「絶対学力」を読んだとき、「これだ!」と思いました。今はまだ幼いから作文など出来る方法は限られています、小学校に入学すればすぐに使おうと思つています。幸い、こちらのほうからテキストが入手できるので、ぜひ使つてみたいと登録依頼を提出することになりました。

■なんとか2人の息子達に勉強を楽しくできるように頑張ってほしいと願つている母です。「絶対学力」もつと早く読みたかったです。よろしくお願いします。

■小学生の男の子が2人います。HPを拝見させて頂いて、子供たちに何が大切かよくわかりました。教材を使わせて頂きたいと思えます。よろしくお願致します。

■小3の男の子、小1の女の子、2さいの男の子の母親です。半年前に長男の通知表の成績が落ち、あわてて家庭学習を始めました。

(それまでは未つ子の面倒で手一杯で、ほったらかしでした)百ます計算や漢字練習をしています。先生の著書「絶対学力」を読んでいます、学習方法を見直そうと思えました。こちらのHPで勉強させていただきます。

■現在、小学4年生の男の子の母親です。最近、少し、ゆつくりと子供の勉強をみようとして、「改心?!」し、一緒に算数の問題を解いておりました。すると、問題を読んでも、その内容そのものが、頭に入らないらしく

「絵を描いて考えてごらん」「イメージして考えてみたら」と、いくら言っても、かんたんな「絵」が描けないのです。学校の成績も決して悪い方ではなく、むしろ、それなりの「成績」は、とつてきているのに。「どうして?」という思いでしばらく過ごしている時に、偶然、書店で「絶対学力」を手にししました。もう、「そうそう」とうなずくことばかりでした。なんとなく、感じ、思っていたこ

とが、見事に説得力を持った文章で、書かれており、自分にとつても、子供にとつても、「いい時期」に出会えたと思います。すつきりせず、手だてもわからず、子供の勉強をとりあえず、見守りながら、子供を塾へ行かせ、そして「中学受験」へと、進んでいたらと思うと。ぞつとします。以上、長くなりました。今後とも、よろしくお願致します。

■突然のメールで失礼します。算数の文章題を、授業で使わせていただきたく、利用者の登録をお願いいたします。授業中に使える、良質な発展的学習問題を探していました。宿題にすることもあるかもしれません問題利用の許可をよろしくお願いたします。

■現在5年生を担当しています。百ます計算に少し疑問を感じはじめています。トライアングルを使ってみたいと思ひ登録させていただきます。

■現在小3の息子に無理なく「考える力」をつけられる方法をさがしていました。本人も「おもしろい(ちよつと頭を使うような)問題」が大好きなので、ぜひ利用させていただきます。

■最近よく耳にする『陰山方式』に何となく違和感を感じていたのですが、先日本屋で見

つけた『絶対学力』を一気に読み終え、私の子供に本当に身につけて欲しかった物が何かわかりました。それは、考える力だったのです。

#### ■利用者の声03

■先日、本屋へ行ったら、陰山さんの本の隣に、「絶対学力」の本を見つけました。

何気なく立ち読みしていたら、「そうだよ、そうだよ」と思い、即購入し家で一気に読んでしまいました。今までのもやもやが晴れたような気がしました。

百ます計算が言われ始めた頃、我家でも、(現在小2)やり始めました。確かに、計算は速いです。学年でも1、2の速さでしょう。

しかし、数字がきたないので、粗末に書いてしまうのです。そして、最近、私自身ちよつと違うんじゃないかな、と思うようになっていたのです。

計算のできない子、苦手な子にとつては、いいかもしれないけど、我が子には、じつくり考える問題が必要なのではと思うようになっていました。

陰山さんのお話では、「百ます計算をしているときは、脳全体が動いている。難しい問題を解いているときは、脳の一部しか使われていない。」と言っていました。本場にそうなのか私は疑問です。

中2の娘もいますが、娘は、小学校では計算は速い方ではありませんでした。しかし、中学に行つてから、毎月計算、漢字、英単語のテストがあるため、(不合格だと合格するまで追試があります)とても、速くなつたんです。

しかし、文章題が、なかなか解けないという、欠点があります。小学の時の家庭学習は漢字、計算ドリル、音読の3点セットだったな一と思ひました。やはり、計算がある程度できるようになれば、じっくり考える文章題を取り入れようと思ひました。そして、九九が始まつた時、トライアングルカードで、家庭学習をしていこうと思ひました。現在「百ます計算」が全国的にブームになつていますが、「絶対学力」の方が絶対です。イメージつてとても大事だと思ひます。

教育関係者、教師の方々にこの本を早く読んで頂きたい、マスコミにでも取り上げられたいら、などと、願うばかりです。

■本日、本屋で「絶対学力」を購入させていだき、内容の素晴らしさに、いつきに読みきり、胸が高まつております。仕事柄、(塾講師)、教育関係の本を、さまざま読ませて頂いておりますが、ここまで具体的に教材等、提示されており、それを、使わせていただけるとは、おどろいております。今すぐ、自分で使いこなせるとは、思つてはおりません。

今は、もう一度、自分の仕事と子どもたちの関係を、見つめ直し、いちから出直したい気持ちで、いっぱいです。

■初めまして。小1の女子をもつ母親です。これまで「百ます計算で学力増進だ!」と信じていましたので、書店で偶然出会つた「絶対学力」に動揺しましたが、今なら充分間に合う、今出会えて本当に良かったと感じています。これから、文章問題に取り組んでいこうと思ひます。

■3児の父親です。かつ小学校知的特殊学級担任です。糸山さんの著作「絶対学力」を書店で見つて、うん?と思ひ、昨日購入いつきに読みました。「100マス計算ブーム」になんとなく疑問を持つていました。15年以上まえに通常の学級担任だったころ、やつていたことがありましたが、徹底できなかつた。今はやりのカゲヤマ先生のようにはいかず。単純計算と脳の活性化のカワシマ博士の本も読みましたが、出版社がなんだかなあ。トライアングルナンバーズ、図を書く文章題に取り組ませること他も、たいへん興味ぶかく感じました。教材として、自分の自作教材のもとして使わせてください。

■幼稚園児を含めて3児の母です。子供の勉強に試行錯誤しています。長男は去年1年百

軒計算を続けていましたが、字が乱雑になりタイムも伸び悩んでいましたので、先生の著書を拝読し、目の覚める思いでした。ゆつくり良く考える子供になつて欲しいものです。

■1年生の子供用に何か良い教材はないかと探して、このHPにたどり着きました。私自身小学校5年生ぐらいから算数の授業が解らなくなり、中学校時代は数学の授業がとても苦痛でした。大人になつても「ああ、もつと頭の中で情報を整理して組み立てられたいすつきりするの!」と感じることがよくあります。物事をイメージする力が大切なのですね。とても衝撃を受けました。

■先生の本で、「学校に期待することを2点にしぼつたらどうだろう」という所を読んで、一人目の子供が小学校3年生になつたとき私が出した「私が学校に期待することの結論」とほぼ同じだったので先生の考え方にとても興味を持ちました。HPに記載されている先生の作つていらつしやる問題は、私が子供達に作りたいと思つていたものです。2人の子供達(6年生の兄に少し遅かつたかも)と一緒に私も勉強しようと思つております。どうぞ宜しくお願い致します。

■先日、息子にサンプル(幼稚園)をさせたところ、「どういう意味かわからん。」と言

つてきました。とりあえず、絵と一緒に考えながら解きました。読解力ないから、まだ問題を解くのは無理のようなので、読み聞かせをがんばって、夏休みくらいから始めようと思っていたのです。ところが、「おかあさん、この間の絵を書く問題、次いつするの?」と聞いてきたので、息子と一緒に考えてみる決心をしました。私は、シユタイナーについて全然知りません。(名前は知っていました)

でも、先生の考え方は大好きです。今、息子は10までの数の合成、分解について習っています。私は、たまごのケースに2色のガラスポール(各10個)を用意して、考えさせています。(繰り上がり繰り下がりは、たまごケースを2個用意して考えさせようと思っています。)

息子に、式を暗記するようなことはしてほしくないのです。最終的には、「目で」覚えてしまえばバッチシと思っています。トライアングルナンバーの方は、この単元が終わってから練習させようと思っています。掛け算の使用はまだまだ先になりますね。早く使いたいけど、じつと我慢します。

#### ■利用者の声04

■ゆとり教育、学力低下、早期教育、100マス計算等に掻き回されている普通の父親です。教育関係の著書を読みあさっている最中、

ここに行き着き幸運だったと思っっています。

■「絶対学力」を読ませていただいた母親です。やつてはいけないことをすべてやってしまい、やらなきゃいけないことは全然やっていない情けない親です。これから、どうしたらいいか、この本を頼りに考えていくつもりです。子供は、著書に書いてある症状にまさにあてはまっています。

■「絶対学力」を拝見し、HPにたどりつきました。巻末の資料にあった「小1亀の問題」をやらせてみたところ、泣くは喚くはで、暗澹とした気持ちになりましたが、HPの皆さんの様子を読ませていただき、ほっとしました。私たち親子も、ぜひ仲間に入れてください。

■書店の店頭で、絶対学力を見かけて購入。長年捜し求めてきたものが突然目の前に現れてくれました。感激しました。興奮しています。これからも仕事を続けていけそうです。今、公立小学校【教員】です。担任する子ども達、血縁上の2人の子どもに対して必要最低限の責任を果たすことができそうです。素晴らしい本を出版していただきありがとうございます。

■ホームスクーラーです。LD傾向のある子

供を【公文】式に行かせていました。学校へ行っていた頃は成績も上がり、良かったのですが、

子供は何か予想しない事が起きるとパニックになってしまい、「僕は考える事ができないんだ」と泣いて苦しんでいました。

推測が苦手なのは障害特有なのですが、どうして考えようとしないので叱る事もありました。でも、そちらのHPを読み、【公文】式の速さを競う計算の繰り返しで考える力を奪ってきた事に気付きました。そして、すぐに【公文】式をやめました。記憶力は並外れたものを持つており、それを活かして障害をカバーしようとしていたのですが、今は考える力を養いたいと思います。確かに子供は変わった物の見方や独特の抽象的概念を理解する力を持つていて、人に理解されにくくても素晴らしい素質を持っているかもしれせん。そちら様の文章題を活用させて頂いて、たとえ1日かけても何故だ、どうしたらいいのかと考えるのも良さそうだと思います。

【公文】式では、「どうしてこのプリントしかやれないの」とか「あれ?今日は足し算なの?引き算はいつやるの」とか「今日はなんで先生は\*なのか」とか、彼なりの好奇心で色々考えていたのですが、そんな事はいから集中して!という教育でした。他の子が淡々と受け入れる事に、おや?と立ち止まり思いをめぐらせるのも考える力のような気が

します。たとえすぐに成績に反映されなくても、大切に育てていきたい所です。そちら様のHPのおかげで、子供の欠点と思えた部分が素晴らしい長所である事が再認識できました。本当にありがとうございます。

■こちらの公立の学校で幼稚園の担任をしています。アメリカ人の先生にまじって、ネイティブの子供たちに英語（読み、書くなど）を教えています。娘は、話す聞くことは、大丈夫ですが、漢字や文章理解では、遅れており、彼女が楽しく日本語に触れることが出来るようにと、1年生へもう一度落とし、がんばっています。私自身も、補習校で教えていますが、うちの学校は、国語だけを教えていますが、できましたら、学校で文章題を朝の一番はじめの作業として使用させていただけようか。

■二日前に何気なく書店で見かけたどんぐり先生の「絶対学力」にすっかり魅了されました。今も繰り返し読んでいる真つ最中です。夫には私の方から口頭にて本の内容を説明しているところです。読者としての感想は、楽しい文章ながら、身の引き締まる内容でした。資料がとても魅力的で、先生が作りになった例文は大人の私でも引き込まれてしまいますし、子ども達のノートギヤラリーには心打られました。学習者の小2の1人

息子は、文章題が全くのニガテで、担任の先生からは「本を読ませて文章を理解できるようにしましょう」と言われています。私としては、過去読み聞かせをあまり多くしてこなかった反省があり、まずは音読を強制するよりも読み聞かせをもっとやったほうがいいかな、と思つてまた始めていたところです。息子もすごく楽しみにしています。が、ふとそれでいいのかな、もう遅かったかな・・・と不安がよぎつていたところに、この本を読んでも、それでいいことを知り、本人が満足するまで楽しくやつていくことにしました。親の目から見ても、息子は学習することそのものには興味があるのを感じます。その興味を失わせない為に、人生を楽しむ力をつけるために、そして、私自身が親として成長する為にもこちらを利用したいと思いました。

#### ■利用者の声 05

■算数では、ビーズを使つたり、絵を書かせたり、と家庭学習を工夫してはいたつもりです。でも、文章題を、読み取る力はなかなか身につけません。このたび、「絶対学力」を読み、今、娘に必要なのは、こういう学習法だと思い、登録させていただきたく、メールいたしました。学校の宿題は、娘に、あつたものでない、(多すぎたり、時間ばかりかかつたり)と、常に思つていたので、時間を上

手に使つて、「目で考える」ことができるように、なつて欲しいです。ありがとうございます。

■糸山さんの絶対学力はとても強烈なインパクトがありました。なぜならば 百マス、問題文の書写、等を子供にやらせていたからです。もつと糸山さんの理論、方法を知つて、賢い、そして子供にとつて何がいちばんふさわしいかを考えてゆきたいと思いました。

■これまで、とにかく計算のスピードを上げるためとか、漢字を多く覚えるためとかといったことを目的に、ドリルを沢山やらせておりましたが、「絶対学力」の本を購入しじっくり読ませていただき、やはり今後本当の意味での学力をつけるためには、これまでの方法では全く役に立たないことがはつきり分かりました。

■幼稚園年少の時から【公文】式をやっています。最近計算は、とても速いのですが、考えてやっているのだろうか？答えの暗記だけではないのか？と不安に感じていたところ学校のお母さん友達から「どんぐり倶楽部」を紹介していただきました。脳の活性化、や百ます計算について読ませていただき 私の不安がこちらのサイトで解消できるのではないかと考え、会員登録させていただきました。

■先日、本屋さんで見かけた絶対学力の本を読んで、速く計算することは考えない頭を形成していることだという作者の考えに深く同感いたしました。私自身、そういった学習にもものすごく疑問を感じていたからです。よくぞ言ってくれました、というかんじです。巷では100ます計算がいかにも学力をつける魔法のように言われていることへも大変疑問視していました。

■先日書店にてどんぐり先生のご本とであいました。今話題の百マスを試していた最中でしたが、息子にさせると同時に私が取り組みましたが、息子がさけると同時に私が取り組みが働かなくなってしまうのを感じ、このようになことをさせ続けて良い物か迷っていました。これから登録させて頂いて、ご指導をお願いしたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

■幼稚園のころ、【公文】式に通い、国語は3学年以上進んだのですが（読書が大好きになつたという点ではよかつたと思つています）、算数は引き算がなかなかできるようにならず、引越を機にやめました。こちらのHPをみつけて、後ろ頭を殴られるようなショックを受けました。ためしにこちらの年長の問題をやらせてみたところ（登録前にすみません）、

嬉々として取り組んでおりました。計算のテクニックを身に付けるより、考える事が大事なのですよね。どうぞよろしくお願ひします。

■絶対学力を読んで、強い衝撃を受けましたよ！と思つてしていたことが実は全く反対の行為と書かれていて眠れないでいたところ、このHPにたどり着きました。親として、できる限りのことをしたいと思つています。

■書店で『絶対学力』を見つけ 読んでみたら我が家の子供たちが大事な時期に居る事にしりました。下の子供が 集中力や思考力が乏しい事と上の子供が 簡単な問題しか解かず 考えない姿勢がみられるので学習形態をかえようかと思ひました。

■アルバイトで算数の指導をしています。速さと量の多さに重点が置かれているため、高学年で伸び悩んでいます。以前から指導内容に危機感を抱いていました。もつと「考える力」をつけさせたい。そして、自分の価値判断に自信を持つて欲しいな。

■13歳の子供を持つ母親です。【公文】式に小学校の時行っていました。今、息子は数学の応用問題ができません。たす？ひく？かける？割る？と問題を読まずに聞くなど問題を理解できず、こんな癖を取り去りたいと思

つていました。うちの子がなぜ出来ないのだろうか？【公文】式かなあなど思つていたりやさき、この本と出会いはつとしました。遅すぎるかもしれませんが、努力してみたいと思ひます。

■「絶対学力」に書かれている、やつてはいけない家庭学習を一生懸命に実行していた父親です。子供の様子を見ていて、なんとなく疑問や不安を感じていたことが、貴書にすべて書かれていました。子供自信が持つている「考える力」の芽をつんできたことに気づいたことだけでも、良かつたと思ひます。

■昨日、「絶対学力」を購入し、今日読み終りました。うちの子供は全く文章題がとけません。なにかヒントをいただければ、と本を読みました。1年生からそろばんをはじめ、計算はとてもはやくて得意なのですが、文章を見ると、最初から「出来ません」といつて、読もうとしません。そろばんもよくなかつたのでしうか？パターン学習といわれるものは、体験にはいきませんが、雑にやるので続けませんでした。これから、どう育てていけばよいか、ご指導いただければと思ひます。

■利用者の声06

■子供に出された100ます計算を自分で解

いて?と思つたのに、何故か世間では評価されている様子。それが不思議で調べているうちここにたどりつきました。現在、中学生に数学を教えています、自分の子供がひどい算数教育を受けているのにあきれいています。

■子ども達に100マス計算をはじめて丁度1ヶ月になります。しかし、今日「絶対学力」の本を購入し、一気に読み、衝撃を受けました。とても説得力のある内容です。「考える力」をつけるため、スピードを競わせるのもう止めます。明日もう一度読み返したいと思えます。

■今の小学校と【公文】式はほぼ同じです。もつと学習の楽しさや、自分の可能性を感じながら学ぶ方法がないものだろうか。そんな不満をもつていたところに、書店で山積みされていたどんぐり先生の「絶対学力」に出会いました。私は一生が学習の場であると思つていきますので、先生の考え方に一々共感できました。

■子供に残してやれるものを考えた時、特別な財産もなく芸術的なセンスも運動神経も普通の私たち夫婦ができそうな事、それは子供にしつかりとした学力と、できれば学歴を身につけてやる事でした。本当の学力とは何だろう。今もまだまだ模索中です。私たち夫婦

からの一番大きなプレゼントなので(しかもかなり長期計画な)最高のものにしてやりたい。そして、プレゼントを私たちも楽しみたいと思つています。100マス計算であつたという間にタイムを上げる我が子に有頂天になつた事もあります。でも、こんな事ばつかりやつていいの?そのとき手にしたのが絶対学力でした。

■100マス計算で、子供が4分以上かかるので反射式の塾にいったほうがいいかなと悩んでいたらときにこの本に出会い、とても感動しました。

■1年生のころから、100マス計算などで、学校などで、鍛えてきましたが、年々どうも考える力、応用力に乏しいような気がしていました。そして、こちらをみつけ、これが私の探していたものだと思つた次第です。

■多くの方々と同じく、100マスを子供にやらせていました。うちの子供は、字を書くのが遅くてタイムが伸びず、子供も私も苛々していました。何と無駄なことをしていたんだろうと思います。ぜひ、こちらの問題を使わせてください。よろしくお願いします。

■100マス計算は学校でも取り上げられています、トライアングルはじめて拝見し

ました。これなら、用紙など自分でも作ることができそうです、子どもたちも無理なくできるとおもいます。

■3にんの子供の母です。実は最近陰山先生の本を読んだんです。それで、どうかなあ、とは思いつつ百マス計算を買つたのですが、うーん、これを時間を計りつつやるの?と躊躇してしまい(数日前私が、クレペリン検査をうけ、とても苦痛だったため)袋からだせずにはいました。注文していたどんぐり先生の「絶対学力」がきたのでさっそく読ませていただき、私が躊躇したのはこれだ。と、納得しました。中2の娘は、家での勉強をどのようにしていいのか解らないし小4の息子は、毎日3点セットだし、1年の娘はこれからです。ぜひ、活用させていただきます。

■小学校6年の担任です。昨年度も6年でしたが、今年もまた6年です。今まで、毎年のように、百マス計算をし、また、陰山先生プログラムにのつて昨年度はずいぶん力を入れてやりましたが、何か虚しさを感じていました。今年も自分の仕事が昨年度に続いての6年担任ということと、また、息子(新小4)の中学受験のために塾の家庭学習を見ていて、「考える力をつけさせたい」と思つていたときに、書店でどんぐり先生の「絶対学力」を見て、「これだ」と思つて購入し、読みました。な

るほどと思うことがとても多く、今までの虚しさの理由も納得いく感じがしました。今年1年、算数に限らず、息子にも、クラスの子どもたちにも、「考える力」が身につく授業をしていきたいと思いい、このホームページにアクセスし、登録することにしました。これからよろしくお願ひいたします。

■秋田で学習塾を開いて22年目となりました。その当時「百マス計算」をよくやらせていました。いつの間にか高校受験、そして最近は大学受験が主となってきまして、気がつくくと小学生はほんの少数という在籍数になっております。今朝、TVでベストセラーに百マス計算の校長が出ておりましたが、それに心酔する親たちを見て？気になって検索かけてみたところ、貴HPを知ることになりました。いまさらお恥かしいのですが、貴HPでの教材等を話題の百マスよりも取り入れさせて頂いていただきたく、登録をお願ひする次第です。

■塾を開いて10年になります。小・中学生の個別指導塾をやっています。指導法に関して、見直しをしようと思いい、陰山方式なども研究しましたが、どうもしっくりこなくて、悶々としていました。おりしも、どんぐり先生の「絶対学力」を書店で見つけ購入。すぐに4回程度読み返し、これは実行の価値ある

指導法であると思いい、メールを出しました。どうぞよろしくお願ひいたします。

■絶対学力読ませていただきました。3年間【公文】式をやらせていたのですが書かれてあるとおりだと実感しています。今ならまだ取り戻せると思いいいっぱいです。

■こどもの友達が沢山「反射式プリント」を利用する塾に行っており、クラスの中で計算のスピードが劣っていることに不安を覚えておりました。文章題を絵図を書くことで解いていく方法に感銘しました。

#### ■利用者の声07

■教室を開いて1年になります。計算はできるのに文章題のできない子のなんと多いことか。でも、世間では100ます計算がはやっている。自分自身それほど計算が速かつたわけでもなく、どんなに簡単な計算でも暗算は苦手で必ず筆算していたけれど、勉強で困ったことはなかつたのです。私は、考える力を持つた子を育てたいと常々思っており、「絶対学力」を本屋さんで見つけたとき、「9歳の壁」という言葉に妙に納得してしまつたのです。それは、3年生、4年生の時期がどうも分かれ目のようだと子どもたちを指導していて感じていたからです。今回、自分

の勉強のために利用登録させていただきました。少しでも子どもたちに質の高い教育を提供していきたくと思いいいます。

■く式プリントをさせていますがどうかと思つていて何気なく本屋さんに行き「絶対学力」を見かけました。隣には『100マス計算のく』がありどちらもかなり立ち読みし絶対学力を購入しました。『9歳の壁』というフレーズが衝撃的に感じ読破するとその衝撃は本物でした。私の子供（9歳）の壁はどんなだろうな、と考えながら意を決しているところですよ。

■絶対学力を読んで感動しました。子ども達に「生きる力」を伝えるのが勉強であるという発想。素晴らしいです。自分自身、小学生、中学生の折、「わからん帳」に似たものを作つて先生に質問していました。そのため中学3年での学力の伸びは学年全体の中程からトップまで行きました。

また、「教育の永久循環を目指す」とともに、優れた指導方法を全世界に発信して自由に使えるようにする。」の信念にも共感します。子どもはまだ3歳とおなかの中に一人います。指導者養成に興味を持つて登録させていただきました。一人でも多くの子どもに、「考える力」を！と思いいいます。よろしくお願ひします。

■はじめまして。本屋で偶然先生の本を見つけた。この偶然に感謝です。小3の娘のことですつと悩んできました。国語力、つまり読解、理解力に欠けているのです。最近でこそ本を読むようになりましたが、それまでは本がきらいな子でした。1年生までは1週間に3日ぐらいいは読み聞かせをしていましたが、2年生になってからは「2年生にもなったら自分で本ぐらいい読み！」と突き放してしまいました。後悔の気持ちでいっぱいです。明日からは読み聞かせ再開します。塾に通ってなかつたので私がずつと教えてきました。これもだめだったのかと思うとちよつとショックです。でも先生の本に出会うことがなければ今までのまま、百マス計算とドリルで突っ走ってしまったに違いないので、「まだ間に合う」と自分に言い聞かせてます。

■我が家も反射式プリントをやっていますが、本に載っていた算数の文章問題をやらせてみたところ、全くお手上げでした。少し遅いかも知れませんが、「考える力」を身につけられるよう親子で取り組んでいきたいと思えます。

■昨年度から全校で100マス計算に取り組んでいます。しかし、どんぐり先生の著書「絶対学力」を読んで愕然としました。ぜひ、

考える力を子ども達につけるためにも、文章題を絵図で解けるようにする力を付けたいと思います。よろしくお願ひします。

■百マス計算のことを調べていてこちらにたどり着きました。今、三年の子の担任の先生が100マス計算を実施しています。HPを見せていただいて、どうしたらいいのか考えつてしまいました。おつしやっていることがすぐわかりやすく、納得できるものだと思います。

■百マス計算を子供にさせてみようかと思ひ調べていてこのHPにきました。トライアングルは百マスに対して私が漠然と感じていた使いにくさを見ごとに解決していてナルホド！と思ひました文章問題も面白そうで子どもと一緒にやってみたくなりました是非利用させてください。

#### ■利用者の声08

■このホームページを見つけ、目から鱗が落ちました。待ち望んでいたものが、ここにはあります。直感で、本物と感じました。宜しくお願ひ致します。

■夏休みに絶対学力の本を読み、ずつと悩んでいました。現在、2人の息子を【公文】式

に、通わせていますが、小三になる上の息子が、全然文章問題ができず、【公文】式の弊害が出てきたのかなと、不安に思っています。でも、このホームページで、いろいろな人の体験や考えを知つてがんばつてみたいと思ひました。

■企業で、教育担当をしており、教育に関して非常に関心を持っています。家庭の子供の教育と企業での人材育成は、同じ原理が働いているのではないかと考えています。当然子供の教育もしつかりやりたいし、その中から会社社会教育に活用できるものを見つかけたいと思ひます。

■はじめまして。現在子供の学習に対して自分が育つてきたときと違うものを感じ不安になり色々調べている所です。そしてここに、自分が求めていた答えがありおどろいています。もう少しで自分の考えとは違う学習方法に子供を追い立てていく所でした。これから、こちらのサイトを利用していただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

■インターエデュの掲示板で知りました。学校以外にほとんど勉強の場を設けておりませんでした。が「凶形」に入つてから「手仕事」の大事さを痛感しました。文章題ではありませんが、題意を図に描き「集中力」「忍耐力」

養成にも役立つと言うところになるほどと感心いたしました。遅きながら小1の分から利用させていただきたいと思います。よろしくお願います。

■100マス計算を自動で作成できるソフトがないかと検索していてこちらのページにたどり着き、愕然としました。学習するとはどういうことなのか深く考えさせられています。

■「絶対学力」の中のやつてはいけないことを、良かれと思いこみ、ほとんど実行していました。今、愕然としています。大げさに言うと、ショックでした。特に長女に関しては、「9歳の壁」のまさにその年齢です。少しでも、正しいルールに、切り替えが出来るようになればと思います、今回登録させて頂きます。

■こんにちは。現在5年生を担任しています。これまで、私も百マス計算を中心とした学習を数多く行ってきましたが最近疑問を感じていたところでした。「絶対学力」を読ませていただき、実践に生かせるのではないかと感じました。このHPで掲載をされている算数の問題は、とても興味深く、子ども達と取り組んでみようと思います。よろしくお願います。

■普段は、自分から進んで勉強をしない子供

が、朝日小学生新聞の三角計算練習ドリルを見て、自分から進んでやりたいと言うので買ってきたら、すらすら勉強をするようになりましたので、このHPをみて、登録することとしました。自主性もてる子育てを目標に努力する親バカです。

■小学3年の娘がいます。塾では1年飛び級をしていますのでできれば4年生のものが欲しいのですが、サンプルを見て3年生のものも十分にやりごたえがあると思い、足元を固める必要を感じました。よろしくお願います。ところで、昨年1年間100マス計算を徹底的にさせましたが、やればやるほど不安を感じるようになりました。その答えがやつと見えたような気がします。ありがとうございます。

■今まで文章問題などは得意なほうで子供は「算数、大好き。」と以前は言っていたのですが、学校で百マス計算が取り入れられ思うように捗らず、自信をなくしかけてしまいました。もちろん計算力は前からあったほうだと思えます。しかし百マス計算が話題になった頃から家で毎日練習している子にはかありません。しかし、百マス計算に疑問を感じていた私は同じように家で練習をさせる気にはなりません。最近、三角計算を知りその例題を見たたん、私は「これだ！」

と叫んでしまいました。子供に話をしてみると目を輝かせて、「やつてみたい！」と言っておりました。

■百マス計算に疑問を感じていた今日この頃子どもが自ら「これやつてみたい！」と朝日小学生新聞を持つてきました。それが三角計算でした。自分から勉強したいいうなんて、子どもを惹きつけるものが何かあるのだろうと大変興味を持ちました。

■先生の著作「絶対学力」を読ませて頂き、夏休み、三角計算の足し算引き算をさせました。(本を見て、毎日手作りしました。)授業が全く分からず、泣いていた娘が、夏休み後半には自分から進んでするようになり、 $5+5=10$ だから、 $10-5=5$ になるんだねと、自分で笑顔で話せる位になりました。

それまで、いろいろなドリルも試しましたが、理解できた物はありませんでした。評論より、子供の反応が正解だと思えます。遅まきながら、もつと先生の教材を活用させていただければと、登録することにいたしました。よろしくお願います。

■『やる気を引きだし、考える力を身につける』ことをテーマに指導を行っており、単に記憶するだけの学習に疑問を持ちながらも、最近よく見かけ、速聴・速読などで謳

われている「右脳教育」を取り入れるべきなのか？と考え始めていたところでした。

ところが、どんぐり先生の著書に出会い、『まさにその通り！』と自分の考えの甘さを反省したところです。特に、英語の読み下しのやり方には感動し、試しに生徒にやらせてみた所、『先生、俺できるよ！』と、英語が苦手の生徒が喜んでやっていました。

#### ■利用者の声09

■どんぐり先生の絶対学力をよみました。娘にどう勉強をさせるか、やつとみえました。是非登録させてください。

■私自身はオペラなどを歌う声楽家です。勉強であり苦勞しなかったので、子供達も大丈夫だろうと放っておいたのがまちがいで、子供のころ自然に解いていた問題が我子にはわからないようです。答えどころか、問題を絵に描くことすらできません。もちろん、集中力、忍耐力なども持ち合わせておりません。絶対学力を拝読させていただいて、愕然といたしました。親子共々指導いただければと存じます。

■アメリカに在住し3年が過ぎました。3歳だった娘も6歳になります。娘は来春は日本という小学校1年生になります。日本語も

覚束ないうちにこちらに来て学校に入り、だんだん英語のほうが強くなっていく娘にどのように国語を教えたいのか、また日本の教科書の薄さに驚き、このままで日本の教育は大丈夫なのかと不安を覚えます。娘には考える力をつけてほしいと願ひ、こちらにおじやまさせてもらいます。

■本日初めて「どんぐり倶楽部」を知りました。日々子どもの家庭学習に苦慮しておりました。どんぐり倶楽部様のおっしゃることを心に刻んで、こどもと向き合つて共に学習して行きたいと思つています。

■今回、どんぐり先生の「絶対学力」を拝読し、感銘を受けました。中学3年の娘が、中々勉強する気持ちにならず、どのようにすれば良いのかと日々悩みいろんな本を読んできました。どうすれば良いのか、本人は、塾へ行く意思もなく、親としては、勉強する方向へ導くこともできず定期テストの結果もあまり良い結果も生まれず、今日を迎えております。今回のどんぐり先生の内容で、分かん帳に共感を覚え、今からでは、遅いのかもしませんが、過去のテスト結果を遡つてみようかと考えております。私自身の中学生時代は、もつと教科別の先生それぞれ、勉強するよう導いてくださったように、記憶しております。一年の担任の先生に勉強の事相談した

際、塾を薦められ、親子してショック受けて帰つてきました。内容が、自己紹介とは、離れたのかもしれないが、このような事に悩んでいる母親という事を知っていた大きたて、このように書かせていただきました。45歳。どんぐり先生と同世代である事が、心強く思つております。

■低学年2人の子供の母親です。「三角計算」で、息子がどうにも嫌がつていたわり算を楽しいと言いだしはじめ、一問一秒くらいのペースで解けるようになってきました。でも、計算力をつけるのだけが親の仕事ではないと思つています。あれこれ問題集を買い込んで、毎日文章題と一緒に机に向きあつて解いていますが、こちらのサイトを知り、もつと親も勉強したいと思ひ、登録させていただくことにしました。

■私は、イタリア人と結婚し、11年間イタリアに住んでいる日本人です。朝日子供新聞で、「三角計算、そして、「どんぐり倶楽部」のことを知りました。去年から、長女に100マス計算をやらせたりしていたのですが、三角計算を見て、一目で気になりました。是非、文章問題も試してみたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

■はじめまして 利用者登録をお願いいた

します。そろそろ学習塾に思っている時期に、こちらを知りました。思い違いをしていた事が多くて、大変参考になりました。特に、「親から教わるという習慣」は「自立して学習できるようになるチャンスを奪っている」はショックを受けました。

■子供の基礎学力の向上にと、まず百ます計算に取り組みました。しかし、タイムを計るのが面倒、字が汚くなる、効果が実感できない、といった理由で十分活用できないでいました。学校の算数テストでも、落ちついて計算しましょう、字は丁寧に書きましょう、といったコメントが付されてくるにつけ、益々疎遠になってしまいました。そんな時、△と出会いました。さっそく子供にやらせたところ、「なんかこれは効果ありそうだ」という感じを受けました。これから△だけでなく、文章題も含めて取り組みたく、登録をお願いする次第です。

■昨日、書店で絶対学力を購入しました。偶然、目にとまりました。小3男子の母親ですが十月に入ってから息子の算数のテストでケアレミスが目立つようになりました。計算を暗算でしてしまう事、答えを出すための式を詳しく書かない事などいくつかの理由が思い当たったのですが、先生の本を読ませていただき 考える力があまり育っていないこと

がわかりました。絶対学力に昨日出会えたことを本当に感謝しております。絵図を書いて式をたてて答えを出す流れを習得させ、視考力、ひいては本当の思考力を育てていきたいと思えます。ありがとうございます。末筆ながら、先生の益々の御活躍と御健康をお祈りしております。

■私は現在3年生の男の子と女の子の双子の母です。二人は2年生からのかけ算に自身から興味を持ち、早くから習いました。従って、何の苦勞もなく、漢字博士になり、九九名人になりました。

しかし、3年生になり、親として考えることが多くあります。私は普通の短大を卒業し、普通の企業に就職し、子供の教育の指導にあつた事は一度もありませんが、自分の子供には安易に塾や指導書に任せるのでなく、私の可能な限り、私の元で指導してやりたいと思っております。

そんな折、学校からの進めとワイドショーの取り上げとで、百ます計算を知りました。参考に実践していましたが、なんだか負担が多く、答え合わせも億劫になりました。大人でも百ますやるうちに集中力を欠いていく感じに襲われます。つまり、つまらないのです。三角計算は自宅近くの書店で知りました。めくってみると、「これかなあ」と思いました。子供に早速やらせてみました。同時に買った

百ます計算の冊子は手付かずのまま、三角計算は2冊目を購入しました。確かにつながりました。かけ算と割り算、足し算と引き算、しばらく、やらせてもらいます。まだまだ、答えが見つかからない子育ての途中ですが。

■利用者の声10

■100ます計算を推進している小学校として、仙台市内では有名校に通つていますが、日も授業参観があつたのですが、どうも娘は納得するまで時間のかかる子です。しかも、時間制限があると手もつけられなくなるほど緊張し、いつも授業ではビリです。娘自身も完全に自身をなくしてしまい、落ち込む毎日です。お金をかければ塾など通わせられるのですが、私自身、きちんと授業を受けていれば小学校レベルでは塾は必要がない、と考えていました。もちろん塾代など余裕はありません。このHPにたどり着き、わらをもつかも思いです。担任からも、お宅の子はもう「遅いくらいです、何千回でも100ますはやらせて下さい」といわれています。本当の学力とは、なんなのでしょうか？涙を流しながら理解しようとしている娘の姿をみるのがツライです。

■1年程前に偶然「どんぐり倶楽部」のHPに会いました。丁度、子どもが私の言いたい

ことを10とすると、2ぐらい聞くと、もう「分かった!」といって考えようとしなくて何かいい方法はないかと思っていました。それから毎日1問ずつノートに書いてやり与えています。内容が面白く、ちよつと読んだだけでは大人でも待てよ?と考えさせられ、よくできているなあと感じています。3年になつてからは、学校から家庭学習ノートを渡され何でも良いから毎日続けること、と言われましてのでんぐり倶楽部の問題を毎日1問ずつ書いてやっています。ついでに絵など描くと子どもは喜んでやっています。担任の先生からも、難しい問題でも取り組もうという気になりますね。というコメントをいただきました。これからも毎日1問を続けようと思つています。軽い気持ちではじめましたが、いまでは家庭学習の定番になつています。どうもありがとうございます。前から利用させていただきながら登録遅れましてすみません。

■来年からの中学受験に向つて塾を選び親子でがんばろうと思つていたところ母に勧められ「絶対学力」をよみました。熟選びから子どもの考える力について本当に私自身が不安に思つていたことに答えていただけの内容で感動し登録させていただきました。どうぞこれからもお願いいたします。

■どんぐり先生の『絶対学力』を読ませていただきました。息子は【公文】式に4ヶ月ほど通つており、確かに計算は速くなりましたが、物足りなさを感じておりました。書店で文章題の問題集を探しても(失礼ながら)単純な計算式で求められそうなものばかりで、1年生だとこんなものかと半ばあきらめかけていた時に、先生の本と出合うことができました。早速巻末の文章題をさせてみたところ案の定、苦勞していました。「絵」を描いて考えるということが難しかったようです。しかし、粘り強く、そして楽しそうに取り組んでいましたので、もつとたくさんの良問を与えたいと思ひ、今回登録させていただくことにしました。よろしくお願いいたします。

■小学6年の娘と小学3年の息子がおります。姉の方はコツコツ勉強するタイプなので、心配ありません。これから英語をどのように学習するか考え中です。弟の方は1年生の時に囲碁にはまり、来る日も来る日も囲碁ばかりです。学校の勉強は3点セットの宿題をのろのろとやつていただけです。算数パズルのようなものは喜んでいつまでもやつていますが。百マス計算のような単純作業が大ざらいで、計算も遅く悩んでおりました。トライアングルナンパーズに出会えて、目の前がぱーつと明るくなった感じです。

■勉強が好きでなかつた子が、少しずつ好きになり、学習する意欲が出てくるようになりました。三角計算は、「無理なく無駄なく」のキャッチフレーズのように子供にも多角的にものを覚えるということが出来る優れものだと思います。足し算も引き算も、掛け算も割り算も関連があるということが、理屈ではなく視覚的なものなどで無理なく覚えることができるようになると思ひました。

■小学校入学を控え、どのような家庭学習をさせれば良いのかと迷つていました。今まで特に何もさせてきておらず、このままでいいのか?と不安になっていたので。K式(プリント?)やS式(右脳)に通つておられるお友達の話を聞いたりは、「焦る」気持ちと「なんか違う」させてみようとは思えない」という気持ちが入り混じつてただ悶々としていたところに、同じ保育園のお母さんから、こちらのHPや文章問題の事などを教えていただきました。初めてでした!「これだつ!」と思えるものに出会えたのは、素晴らしいです!「考える力」;勉強は勿論、生きていく上でも絶対に必要ですよ。利用許可をいただく前で大変申し訳なかったので、試しに年長の文章問題を3問我が子にさせてみましたところ、喜んでそうに絵を描き、答えを導いていました。絵を描く前に答えたものもありましたが、「じゃあ絵を描

いて「ごらん？」と促してみると、描いているうちに「あ、ちがう」と間違いに気が付きました。私自身も固くなった“頭”を働かせ、子どもと一緒に考える力を取り戻せるかもしれませんね。それから、我が子には絵本の読み聞かせを6年間続けていますが、最近ではどんどん自分で読んでいますので、時々しか読み聞かせをしていませんでした。「3年生までは・・・」の説明を見て、これではいけないと思いました。「水の泡」にしてしまうところでした。感謝いたします。これからもよろしくお願い致します。

■昨今話題になった書籍やさまざまな塾を探したり：すっかり疲れた果てに出会った一冊でした。自分が疲れるのは兎も角、危うく子どもを潰してしまいたいそうだったのだとぞっとしました。これまでの思慮の浅さを反省するこのごろです。

■子どもの家庭での学習に悩む母親です。2年前、子どもが1年生のとき蔭山氏の実践を知り、昨年からは百ます計算を取り入れました。子どもはそれ以来急激に計算力が付き算数が好き、というほどになりました。確かに成果は上がったと思いましたが、百ます計算って、実際自分でやってみるとかなりやりづらい。また、近頃、生活ノートなる本を出されて、家庭でのしつけにまで言及する状況に、

ちよつと引いていたところでした。また、蔭山氏の著書はほとんど買いあさったという事もあり、書店で教育関係の本を眺めることが少なくなっていました。少し前から、百ます計算のとなりに三角計算の本が並べられていたのは知っていましたし、内容もちらと見ましたが、同じような本が出てのね、としか思っていませんでした。今回、アマゾンのホームページで「絶対学力」の本を見つけ、著者の糸山氏とは何者ぞ、と、調べた所、このホームページに行き着きました。内容を拝見し、なるほどと思ひ、利用者として登録させていただきます。次第です。